

SEMICON[®] JAPAN

SEMICON JAPAN 2019 参加報告書

群馬大学大学院 理工学府 理工学専攻
電子情報・数理教育プログラム
小林研究室 修士2年 柴崎有祈子

1. 参加イベント

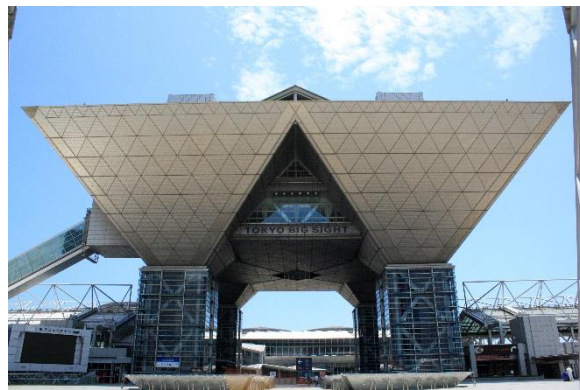
SEMICON JAPAN 2019 (<https://www.semiconjapan.org/jp/>)

2. 開催期間

2019/12/11(水) - 12/13(金)
10:00 - 17:00

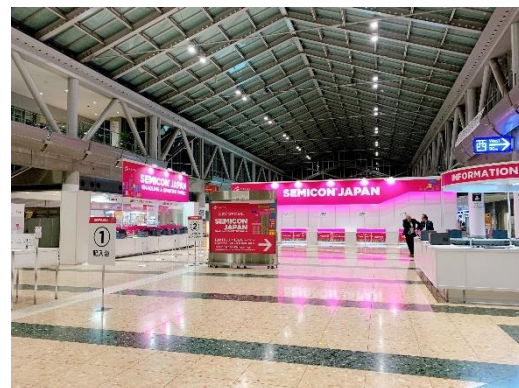
3. 開催地

東京ビッグサイト
西展示棟・南展示棟・会議棟



4. イベント概要

SEMICON Japan は、半導体の前工程～後工程までの全工程から、自動車や IoT 機器などの SMART アプリケーションまでをカバーする、エレクトロニクス製造サプライチェーンの国際展示会である。700 社が最先端の製造技術を展示し、2万 5000 人の参加者が、日本そして世界から集まる。



5. 参加報告

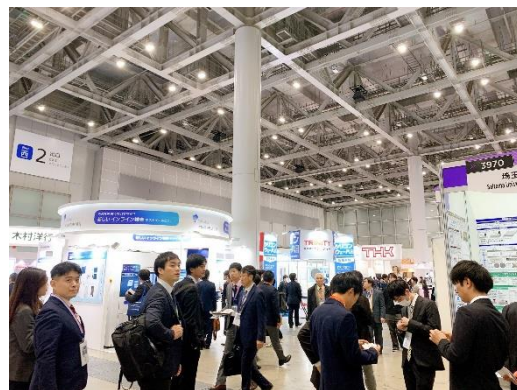
私は、12/12(木)に参加し、群馬大学小林春夫研究室ブースの説明者としてポスター発表を行った。「ACADEMIA」では、群馬大学の他にも、東北大学や大阪大学など、全国から多数の大学が出展していた。

私たちのブースには、

- ・群馬大学の卒業生の方
- ・大学や企業でアナログ回路を扱っておられる方
(小林研究室をご存知の上でブースに来てくださる方が多かった)
- ・ポスターに興味を持ってくださった方

をはじめ、海外企業の方など10名強の方が立ち寄ってくださり、たくさんの方と交流することができた。研究や仕事の話を通して、自身の知見を広めることができ、有意義な経験となった。

また、ブースでの説明を交代して、会場の見学を行った。会場内は混雑しており、参加人数の多さから半導体業界の活気を感じた。特に「SMART APPLICATION ZONE」には人が多く、最先端技術に対する注目度の高さと宣伝効果の威力を知ることができた。スポンサー企業の展示は力が入ったものが多く、「ACADEMIA」から近い株式会社アドバンテストのブースは一際目をひいた。



SEMICON JAPAN 2019に参加し、ブースに立ち寄っていただいた方との会話や各企業の展示見学によって、半導体業界についての理解が深まった。今回学んだことを今後の研究活動に活かしていきたい。

6. 謝辞

この度、SEMICON Japan 2019参加の機会を与えていただいた小林春夫先生、参加にあたり様々なサポートをしていただいた桑名先生、小林春夫研究室のブースをお立ち寄りくださった皆様に深く感謝申し上げます。